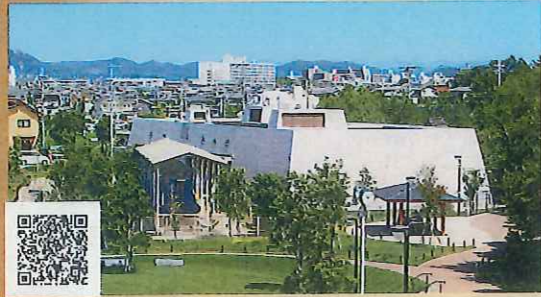


もっと詳しく知りたいなら

播磨町郷土資料館 ☎079-435-5000

弥生語が唯一聞ける、大中遺跡出土品を展示した資料館。他に郷土の偉人「新聞の父 ジョセフ・ヒコ」、廃線となった別府鉄道の資料なども展示しています。



兵庫県立考古博物館 ☎079-437-5589

大迫力のジオラマや実物大の復元品で、古代人の暮らしをわかりやすく紹介。発掘体験や毎日できる古代体験など、楽しみながら学べるしかけがいっぱいです。



周辺施設もチェック

きつずなホール(播磨町土山駅南交流スペース)



播磨町の魅力を発信し、多くの方々にとって素敵な出会いの場、集いの場として、どなたでも利用できます。播磨町の「旬」をお知りになりたい場合は、ぜひお立ち寄りください。
☎078-941-5030

であいのみち



別府鉄道の線路跡を活用した四季を楽しめる緑道です。また、時代の変わり目を示す「タイムトンネルゲート」を設置しています。歴史の流れを体感して、JR土山駅から大中遺跡までの道のりをお楽しみください。

大中遺跡公園

兵庫県加古郡播磨町大中1丁目

開園時間 [4月～9月] 午前9時～午後6時
[10月～3月] 午前9時～午後5時

休園日 月曜日(祝日の場合は翌日)
年末年始(12月29日～1月1日)

入園料 無料

JR利用 「土山駅」南口から「であいのみち」を徒歩約15分

山陽電車利用 「播磨町駅」北口から喜瀬川沿いに徒歩約20分

自動車利用 第2神明・加古川バイパス「明石西(土山)IC」から国道2号線を西へ約3km(駐車料金1回200円)

大中遺跡へのアクセス



ARアプリを使って

おおなかいせき

大中遺跡を巡ろう!



遺跡内のスポットでかざすと...

古代の暮らしを360°ARで再現!



住居や食べ物など写真や図でわかりやすく解説!



さあ!ダウンロードして大中遺跡へ!



大中遺跡
ARアプリ
を使って

5つのスポットを巡ろう!

1

家の中のようす

住居の中の当時のようすを再現。
住居の特徴や復原の過程も解説
します。

360°
AR

2

集落の大きさ

大中遺跡の住居の数や、暮らして
いた人々の数など集落の大きさを
紹介します。

3

この時代のようす

大中遺跡が栄えていた時代のよ
うすを再現。人々がどのような暮
らしをしていたかを見ることがで
きます。

360°
AR

4

生活のようす

古代の人々がどのようなものを着
て暮らしていたのか、またどのよ
うなものを食べていたのかを紹介
します。

5

使っていた土器

当時の生活に欠かせない土器に
ついて紹介。食べ物を調理したり、
盛り付けたりする土器について解
説します。

スポットに近づくと、
古代の暮らしを
再現したようすや解説を
見ることができるよ。



○ = 竪穴住居跡

大中遺跡とは?

大中遺跡は、昭和37(1962)年6月、町内に住む3人の中学生によって発見され、昭和42(1967)年に国の史跡に指定されました。昭和47年から「播磨大中国古代の村」として整備され、今では憩いの場として親しまれています。弥生時代後期(約1900年前)から古墳時代初頭(邪馬台国 卑弥呼と同時期)の代表的な遺跡で、当時、貴重品だった中国製の鏡(内行花文鏡片)が出土しているので、播磨では有力なムラでした。

郷土資料館で
タブレットを無料レンタル
できるよ!

